心を寄せあって

曲 SORA 詞 東京介護福祉労働組合

1

あなたの心に寄り添っていたいできないこと わからないこと 必替れに きれいだな つぶやき認知症 わかっていても 疲れが帰りたい 帰りたい 帰りたい 繰り返され ないこと、みんな受け止めてして、嬉しいよっがもきが聞こえるとも、疲れが増えていく

2

あなたの心に寄り添っていたいありがとう。その一言が、とても嬉しくてもい湯気の間に笑顔、嬉しいよいおっているがとう。叩く音、顔がはころんでいくまな板を、叩く音、顔がはころんでいくある手に、つらいなぁと、心の声聞こえる冬の空、自転車、ハンドルを振ると

3

ここにくれば、どんなことでも話せて、いたわりあここにきたら、ほかの職場の人と話ができた結婚できる給料に、なりそうもなくて、不安になるもうけぱかりの経営に、怒りと辛さで眠れなくなる人と関わるのが好きだから、介護の仕事を選んだ わりあえる

信じあえる仲間と(心を寄介護現場を変えていきたい 心を寄せあって、闘っていくきたい、いい介護がしたい

心を寄せあって調

曲 SORA

あこで感心つ夕疲認繰 なときじがぶ暮れ知 添たなて生やれが症返た つのみいききに増 さい て心んこ嬉てがえわれ いになとしい聞きてかる帰 いるこれいっ言 受 よこえい くて葉た とるだ 止か とな めら てな も

2

冬の空自転車

1 を 振 ると

凍る手に つ 5 なあと

心の声聞こえる

顔が ま 5な板を は ろ · く 音 でい

湯気 (T) に笑 顔

嬉 61 よ あ 9 が 6 5

た 言 に寄り لے も 嬉 しくて

添っていたい

を寄せあって 詞 東京介護福祉労働組合

SORA

幸つ介人3 ら護と そでとけだいの関 笑選が 対しただった。 から る の は

こ話こな結怒 り婚りうせ せこがこ てにでに くききうき辛ぱか顔仕わいれたたもるさからが事る らな給でりをの たば く料眠の りど ほてにれ経 な営 あん か くに えな の不 なる 職安 場 に な \bigcirc る

心信い介 をじい護 寄 あ介現 せえ護場 あるがを 仲 変 て間 え た して 闘 きた つて

わ

る

لح